

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

AXELL

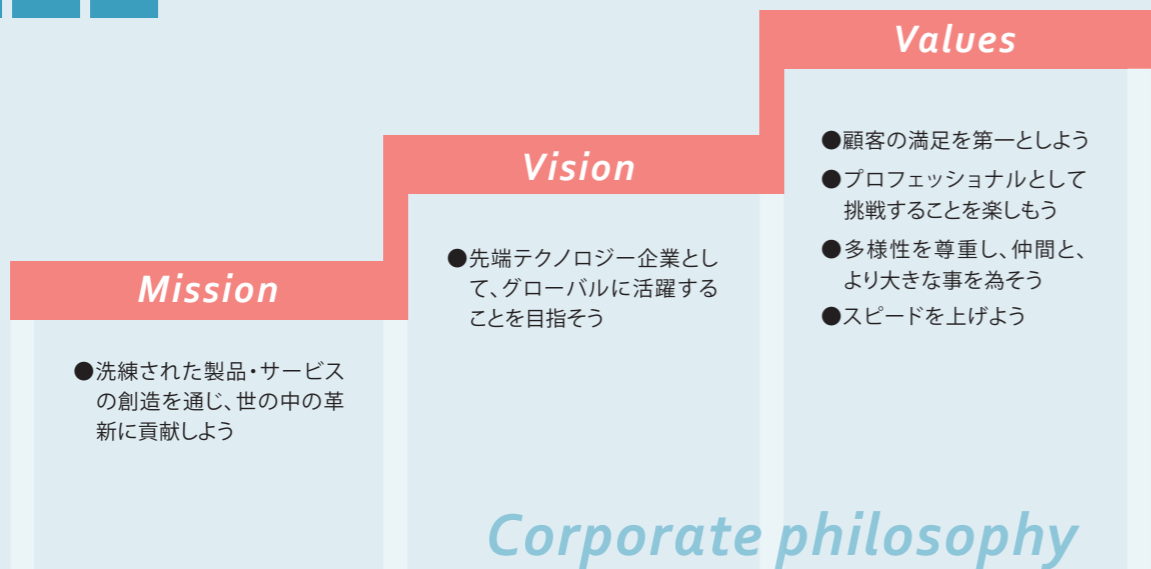
Review

証券コード 6730

第27期中間報告書

2021.4.1 > 2021.9.30

企業理念



社長ごあいさつ

既存・新規事業ともに積極策の推進で持続した成長を目指します。

新型コロナウイルス感染症の影響は、ワクチン接種の普及で抑制に向かいつつありますが、景気の先行きは不透明な状況です。こうしたなか、当社グループではパチンコ・パチスロ機市場で安定収益確保に向けた取り組みを進め、注力している新規事業では早期事業化に向けた活動を積極的に実施しました。その結果、当中間期は前年同期を上回る業績となりました。通期にかけては、半導体需給のひっ迫の影響やパチンコ・パチスロ機市場における旧規則機の入れ替え需要後の市場動向など不透明な状況が続くものと考えておりますが、既存・新規事業とも積極策を推進し持続した成長を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 松浦 一教

会社概要

設立年月日 1996年2月1日
 資本金 10億28百万円
 社員数 91名(アクセル単体)
 事業内容 ●半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売
 ●画像・音声・機械学習等に関する要素技術の研究、開発、販売
 ●情報セキュリティに関する要素技術の研究、開発、販売
 ●ブロックチェーンに関する要素技術の研究、開発、販売
 ●インターネットを利用した各種情報提供サービス業
 ●ソフトウェアの開発、販売
 ●前各号に関する応用機器の設計、製造、販売
 ●古物売買業
 ●前各号に付帯する一切の事業

取締役 取締役社長(代表) 松浦 一教
 取締役副社長(代表) 斉藤 昭宏
 取締役 蟹江 幸司
 取締役 客野 一樹
 取締役(監査等委員) 西坂 禎一郎
 取締役(監査等委員) 三村 勝也
 取締役(監査等委員) 鈴木 真巨
 取締役(監査等委員) 五十島 滋夫
 ※監査等委員は全員独立社外取締役です。
 ※西坂禎一郎氏は常勤の監査等委員です。

所在地 〒101-8973
 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
 秋葉原UDX 南ウイング10階
 TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671

グループ会社 ax株式会社
 株式会社VIPPOOL
 aimRage株式会社

URL <https://www.axell.co.jp/>

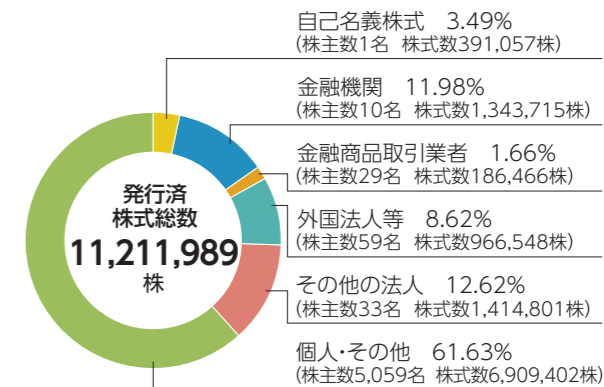
株式の概要

発行可能株式総数 23,112,000株
 発行済株式総数 11,211,989株
 株主数 5,191名

株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	942,500	8.40
緑屋電気株式会社	849,000	7.57
柴田 高幸	644,800	5.75
市原 澄彦	595,800	5.31
松浦 一教	405,160	3.61
株式会社アクセル	391,057	3.48
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY - PB	368,000	3.28
森屋 和喜	331,300	2.95
株式会社アパールデータ	260,000	2.31

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
 期末配当金 3月31日
 受領株主確定日 (中間配当を実施する場合は9月30日)
 公告方法 電子公告により当社ホームページ(<https://www.axell.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座 口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お知らせ

株式に関するお手続きについて

- 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Non VOC INK Version 2
 VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクで印刷しています。



当中間期の業績について

「LSI開発販売関連」セグメントは、当中間期において売上高4,789百万円(前年同期比727百万円増)、セグメント利益1,014百万円(同238百万円増)となりました。主力製品のパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは前年同期より約1.1万個減の約21.5万個の販売にとどまりましたが、メモリモジュールが前年同期を上回る販売数となったほか、高単価製品の販売比率が上昇したことにより、売上高は大幅に増加しました。

「新規事業関連」セグメントでは、前期までLSI開発販売関連セグメントに含めていた組み込み機器向け製品が新規事業との関係性を深めてきたことにより、今期から「新規事業関連」にセグメント変更しています。当中間期は組み込み機器向け及び機械学習/AI領域での売上高を中心に、売上高231百万円(前年同期比32百万円増)、セグメント損失は208百万円(前年同期は201百万円の損失)となりました。

以上の結果、当中間期は売上高5,021百万円、売上総利益1,593百万円となりました。販売費及び一般管理費は1,088百万円、うち研究開発費は540百万円となりました。これにより、営業利益は504百万円、経常利益は523百万円、親会社株

主に帰属する四半期純利益は421百万円となりました。

また、当中間期末の財政状況は、流動資産9,916百万円、うち現金及び預金は8,109百万円、自己資本比率は91.4%で、引き続き健全性を維持しています。

通期の連結業績について

当期の連結業績につきましては、売上高9,600百万円、営業利益450百万円、経常利益560百万円、親会社株主に帰属する当期純利益440百万円を計画しています。

当中間期の業績は、通期業績予想値の営業利益以下の各利益に対して94%から112%の進捗となっていますが、世界的な半導体需給のひっ迫の影響等、下期以降の市場環境が不透明なことに加え、既存事業の業績拡大に向けてパチンコ・パチスロ機向け次世代製品の試作開発費を見込んでいたことなどを総合的に検討し、現時点では業績予想を積極的に修正する状況ではないと判断しています。今後状況の精査等により、通期の業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

当期末の配当につきましては、上記の業績予想

と当社の株主還元方針(配当性向50%)を踏まえ、1株当たり年間配当21円(前年実績31円)を計画しています。

今後の成長戦略について

当社グループの強みである「高付加価値製品を実現する総合的な開発力」を最大限に発揮し、引き続き安定基盤を持つ既存事業への取り組み強化と、新規事業での確かなポジションを早期に構築すべく積極的に経営資源を投入し、当社グループを支える両輪としていきます。

既存事業では、安定収益確保とともに、新たな収益柱の獲得に向けて、パチンコ・パチスロ機向け次世代製品の開発を本格化します。メモリ製品では現在シェアの70%を獲得していますが、さらに市場のデファクト・スタンダードを目指すためメモリ専業メーカーである子会社のaimRage(エイムレイジ)株式会社を設立、蓄積した技術とノウハウを有効活用して、引き続き市場ニーズに応える製品ラインナップを強化していきます。

新規事業は、2024年3月期の売上高16億円超達成に向けて、これまでの積極戦略を引き続き推進するとともに、アライアンスや出資の検討等も積極的に行い早期収益化を目指します。組み込み

機器向け製品では、多種多岐にわたる組み込み機器に向けたグラフィックスLSIの販売を拡大するほか、新規事業4領域である機械学習/AI、ミドルウェア、セキュリティ、ブロックチェーンと連携した取り組みも強化していきます。「機械学習/AI領域」では、アクセルが独自開発するAIフレームワーク「ailia SDK」を起点に、多様な顧客ニーズに対応した付加価値の高いトータルソリューションを提供していきます。先進的なプロセッサを開発する株式会社エヌエスアイテクス(NSITEXE)とは新たに協業を行い、様々なエンドユーザの組み込み機器に向けたAIソリューションの共同提供を行います。また、NEDO公募事業の一環として、株式会社ティアフォーと完全自動運転に向けAIチップの研究開発も引き続き進めています。「ミドルウェア領域」では、ゲーミング市場の開発現場で求められる高付加価値製品をフルラインナップした多機能パッケージが特長の「AXIP」を提供。導入した企業やアプリごとに固定・売上連動型ロイヤリティビジネスの拡大を進めています。「セキュリティ領域」では、ライセンス管理や認証など様々なシーンでよりセキュアに情報が管理できるSHALOシリーズの販売。日本企業が開発した製品として高い安定性、充実したサポートなどを提供し競合との差別化を実現しました。「ブロックチェーン領域」では、ブロックチェーンの活用例を紹介するデモアプリ「Blockchain Showcase」を開発しました。これによって同技術の特長と理解を広め、社会実装に向けて、マーケティングや商品開発を進めていきます。

今後もこうした取り組みを積極的に行い、事業の成長と持続的な収益確保に取り組み、着実に成果をあげていきます。

■ 第27期中間期の連結業績結果

(百万円)

	前中間期実績	当中間期実績	増減率
売上高	4,262	5,021	18%
売上原価	2,730	3,428	26%
売上総利益	1,531	1,593	4%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	1,261 (738)	1,088 (540)	△14% (△27%)
営業利益	269	504	87%
経常利益	299	523	75%
親会社株主帰属利益	231	421	82%

■ 通期連結業績計画

(百万円)

	前期実績	当期通期計画	増減率
売上高	8,999	9,600	7%
売上原価	5,907	6,450	9%
売上総利益	3,091	3,150	2%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	2,555 (1,472)	2,700 (1,500)	6% (2%)
営業利益	536	450	△16%
経常利益	705	560	△21%
親会社株主帰属利益	670	440	△34%

■ 通期連結業績計画に対する中間期の進捗

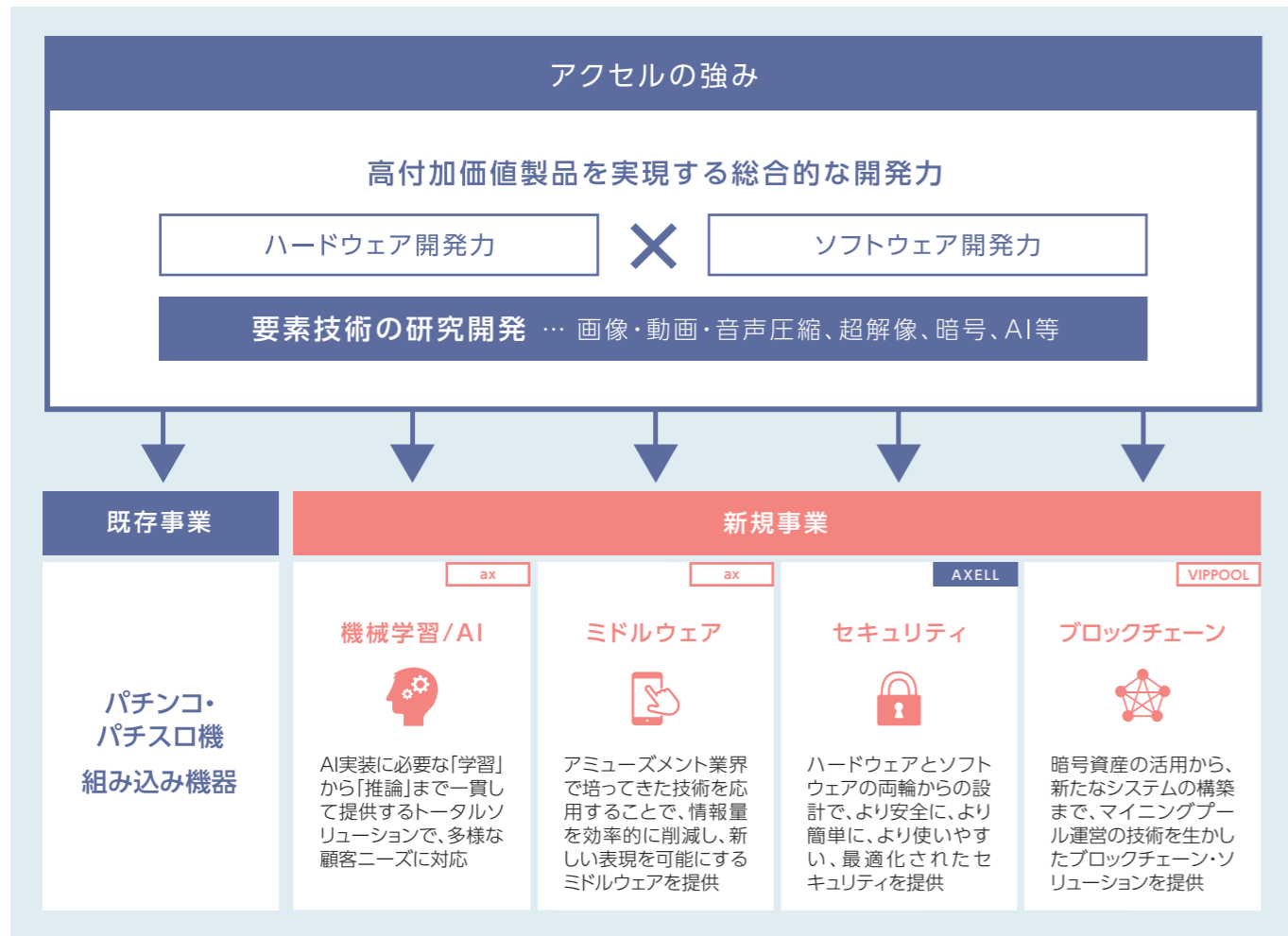
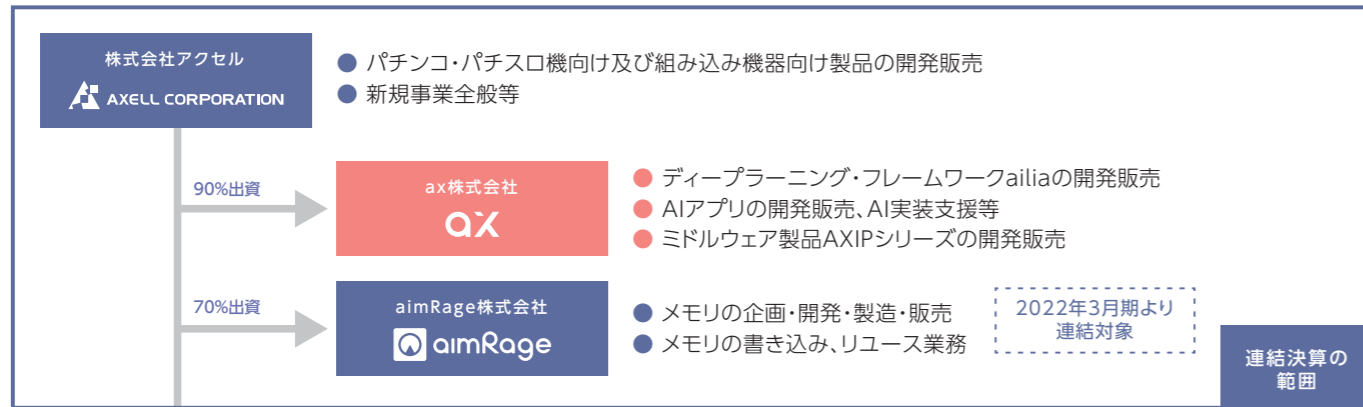
(百万円)

	当中間期実績	当期通期計画	進捗率
売上高	5,021	9,600	52%
売上原価	3,428	6,450	53%
売上総利益	1,593	3,150	51%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	1,088 (540)	2,700 (1,500)	40% (36%)
営業利益	504	450	112%
経常利益	523	560	94%
親会社株主帰属利益	421	440	96%

アクセルの新規事業

アクセルグループの体制と事業展開

アクセルグループでは、既存事業での安定収益確保、さらには新規事業の展開を加速させるため、組織再編や出資等を積極的に実施しています。各社で蓄積した技術・ノウハウをグループ内で融合することにより、お客さまに最適なソリューションを提供しています。



事例紹介

機械学習/AI

新パートナーと開発協力

自動運転など様々な組み込み機器に向けたAIソリューションを共同提案

先進的なプロセッサを開発するエヌエスアイテクス (NSITEXE) と新たなパートナーシップを組み、同社の高効率並列プロセッサ [DR1000C] に、アクセルの [ailia SDK] を実装しました。これにより、幅広いアプリケーションで採用が期待される DR1000C 上で多種多様な AI モデルを動作させることが可能になります。自動運転、その他モビリティ業界の DX など、様々な組み込み機器に向けた AI ソリューションの提供を加速させ、人々の生活を豊かにする世の中の革新に貢献していきます。



ブロックチェーン

ブロックチェーンを活用したビジネス構築支援

技術的な活用例を紹介するデモアプリを新パートナーと開発

ブロックチェーン技術は、IT 技術を活用して人々の生活をより豊かにする DX の推進で注目を集めています。そこで、何が実現できて、ビジネスに活用できるのか、ブロックチェーンの活用例を紹介するデモアプリ [Blockchain Showcase] を、ブロックチェーンアプリの開発実績が豊富な CryptoLab との協業で開発しました。これを機に同技術の特長を広め、ブロックチェーンの社会実装に向けて、マーケティングや商品開発を進めていきます。



Blockchain Showcase

Webサイトにアクセスすることで、誰でも手軽にブロックチェーン技術を活用したユースケースを体験

